

4-2 オーガーボーリング標準歩掛（孔径 100 mm）（粘性土、泥炭）

（3m当り）

区分	名称	単位	数量	摘要
人件費	地質調査技師	人	0.13	
	主任地質調査員	〃	0.38	
	地質調査員	〃	0.76	
材料費	標本箱	箱	1	
	刃先	ヶ	0.08	
	雑品	式	1	上記材料費の5%
機械損料	ハンドオーガー	日	0.38	

- 注) 1 1日当りの掘進延長は標準8mとする。  
 2 砂質土の場合は30%割増する。ただし、標本箱は割増しない。  
 3 深度3m以下の歩掛とし、3mを超える場合については人件費を50%増とする。  
 4 地下水面以下は掘削できない。

5 サンプリング

5-1 ピートサンプリング歩掛

区分	名称	単位	数量	摘要
人件費	地質調査技師	人	0.2	
	主任地質調査員	〃	0.9	
	地質調査員	〃	1.8	
材料費	雑品	式	1	人件費の1%
機械損料	ピートサンプラー	日	0.9	

- 注) 1 データ整理を含む。

6 地下水検層（地すべり調査）

6-1 地下水検層

6-1-1 地下水検層観測

（1孔当り）

区分	名称	単位	数量	摘要
人件費	地質調査技師	人	1.0	
	地質調査員	〃	3.0	
材料費	雑品	式	1	人件費の16%
機械損料	測定器、ポンプ	〃	1	人件費の4%

- 注) 1 トレーサーとして塩水を用いる検層方法である。この場合以外は別途考慮すること。  
 2 雑品は、検層コード、ホース、ドラム缶、食塩等を含む。  
 3 上表は深度30m以内の歩掛とし、深度30m超40m以下の場合は人件費を30%増、深度40m超50m以下の場合は人件費を50%増とする。また、深度50mを超える場合は別途考慮すること。

6-1-2 地下水検層解析

（1孔当り）

区分	名称	単位	数量	摘要
人件費	技師（A）	人	0.2	
	技師（B）	〃	0.5	
	技術員	〃	1.0	
直接経費	材料費	式	1	人件費の3%